

【学力向上フロンティア事業中間報告書】（小学校用）

都道府県名

北海道

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	上磯町立上磯小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	3	21	30
児童数	99	99	98	96	100	97	4	593	

研究の概要

1. 研究主題

地域に生きる，確かな学力を身に付ける子どもの育成
～子どもの学びを育てる指導と評価の一体化～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

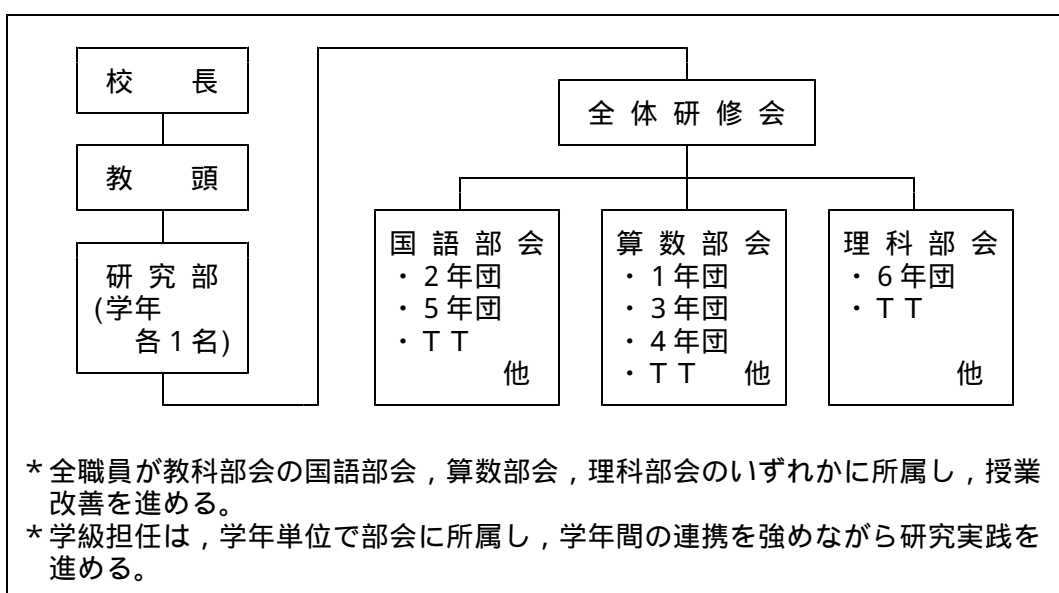
- ・ 4，5，6年生・国語
子どもの理解の状況が十分ではないととらえている教科，学年であるため。
- ・ 4，5，6年生・算数
子どもの習熟の状況に差が出やすい教科，学年であるため。
- ・ 4，5，6年生・理科
学習に消極的な子どもが多く見られる傾向にある教科，学年であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 子どもの学びを育てる指導と評価の一体化</p> <p>研究の見通し 子どもの実態を確かめ，子どもの側に立った学習活動を展開することで，確かな学力が育成される。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実態把握の方法の確立（個人カルテの作成，的確な実態把握のためのレディネステスト・プレテストの開発） ・ 学力調査の実施と分析 ・ チームティーチング（TT）による指導体制の工夫（様々な指導体制の試行） ・ 効果的な指導形態の工夫（効果的な指導形態の模索） ・ 評価方法の工夫（自己評価能力の育成のための教師評価の工夫） ・ 資料の蓄積・保管
--------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 子どもの学びを育てる指導と評価の一体化</p> <p>研究の見通し 子どもの側に立った学習活動を展開し，適切な評価を行うことで，確かな学力が育成される。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態把握の活用 ・学力調査の実施・分析と活用 ・T Tによる指導体制の検証 ・効果的な指導形態による授業の展開 ・評価方法の検証と活用(自己評価・相互評価・教師評価の方法の確立) ・資料の活用
----------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

レディネステストやブレテストを行い，単元レベル・題材レベルでの子どもの実態を把握したことで，適切なコース設定や少人数指導を行うことができた。

コース別学習では，一人一人の子どもの学力の状況や学び方の特性を指導者が見取り，それをもとにコース分けのアドバイスを行ったので，子どもの学習意欲が高まった。

学年の中で，少人数指導を行ったので(3C4Tなど)子ども同士が刺激し合い，自主的，積極的に学習に取り組む姿が多く見られた。また，子どもの側から今後もコース別学習を望む声が多く出された。

自己評価活動を学習展開の中に位置付けたことで，子どもが自己の学習を振り返り，より深めようとする意識付けが図られた。

客観的なデータとしてはまだ提示はできないが，単元末のテストなどでは少しずつ学力が向上してきている様子が見られる。また，理解や習熟が十分でない子どもが休み時間等に，自主的にT T教員のところにきて学習している姿もよくみられるようになっている。

2. 今後の課題

コース別学習の実施に当たって、子どもの学力の実態が各指導者間で十分に把握しきれないことがあった。個人カルテのより効果的な作成・活用について研究する必要がある。

それぞれのコースの評価の尺度をより明確にし、理解や習熟についての目安を子どもに示すなどして、より自主的に学習を進めたり、自己評価や相互評価を充実させたりする必要がある。

TT指導でのT1・T2の役割を一層吟味し、より効果的な学習指導ができるよう研究を進める必要がある。

自己評価能力の育成という点では、本年度の取組は不十分であった。研究部が具体的な方向を示すなどの手立てを明確にして取り組む必要がある。

PTA・地域の方々に教育ボランティアを依頼し活用を図るなど、多面的な教育を進める必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

2年生以上で教研式全国標準診断的学力検査（NRT）を5月に実施し、子どもの学力を分析して、指導に生かした。（国語・算数、理科は4年生以上）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度渡島管内公立小中学校運営研修会（平成15年7月8日）
・新任教務主任を対象に「児童生徒の特性を生かした学習指導の充実」について、TT指導を中心に説明
平成15年度第1回道南地区学力向上推進協議会（平成15年7月22日）
・授業公開、取り組みの発表
平成15年度10年経験者研修（平成15年9月17日）
・教科指導等研修で他校種の教諭を対象に授業公開、取組を説明
平成15年度渡島管内研究実践交流会（平成15年10月2日）
・教頭・教諭を対象にフロンティアスクールとしての取り組みを説明
平成15年度北海道小学校教育課程改善協議会（平成15年11月18日）
・教頭・教諭を対象にフロンティアスクールとしての取組を説明
公開研究会開催（平成15年11月20日）
ホームページの開設

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無